

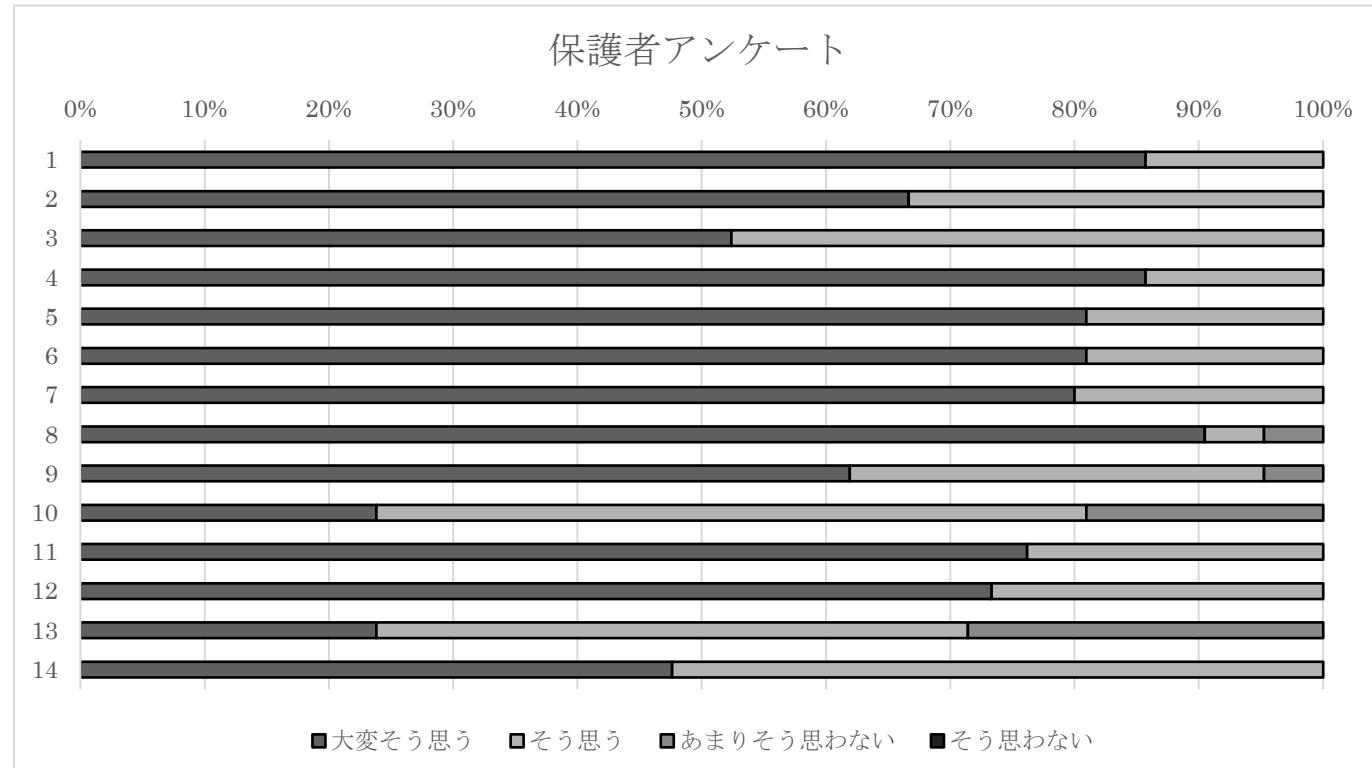
## 乾隆幼稚園だより特別号

京都市立乾隆幼稚園

園長 豊田 寿美夫

保護者・地域のみなさま、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。  
(9月)に実施した保護者アンケートの集計ができました。結果をお知らせいたします。

1	幼稚園は教育目標「心身ともに健やかで生き生きとした子どもの育てる」に向けての保育を行っている。
2	幼稚園の環境は、安全で子どもが豊かな経験ができるように整えられている。
3	保幼小連携・地域との連携等の取組は子どもの育ちにつながっている。
4	幼稚園には、さくらんぼ組や預かり保育等の子育て支援の取組のあることを知っている。
5	幼稚園は、お便り（子どもの姿）やホームページで活動の様子がわかるように発信している。
6	教職員は、子ども一人一人に温かいかかわりをしている。
7	教職員は、生き生きと働いている。
8	お子さんは、楽しく幼稚園に通っている。
9	お子さんには、今、夢中になっているものがある。
10	お子さんは、自分のことは自分でしようとする。
11	お子さんは、家族、友達、先生など周りの人に親しみをもってかかわっている。
12	お子さんは、楽しんで預かり保育に参加している。（利用者のみ）
13	「ノーテレビ、ノーゲームデー」の取組だけでなく、普段から親子で絵本を読むことを続けている。
14	幼稚園での出来事など、お子さんの話に共感したり対話したりする機会は多くもてている。



コロナ禍ではありますが、今年度は社会経済活動との両立ということもあり緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出されない状況でした。そのため昨年度中止した9月のプールでの水遊びや10月8日（土）の休日運動会も実施できました。学校運営委員会の企画委員会としての絵本ママも再開できました。感染対策をしながらもできることが多くなったことは嬉しく思っています。ただ年々減少傾向の入園募集には力を入れなければならないと考えているところです。

今回の項目の考察です。

・項目1 子どもの主体性を大切にして遊び込む中で生きる力を育てる保育を本園では大切にしています。保護者の皆様にはご理解の上、本園を選んでいただいていることに感謝します。異年齢での活動を推進するなど絶えず保育内容を見直し、今後も良い評価をいただけるように努力していくと考えています。

・項目2 今年度もすべり台の取替、遊具の修理等安全にかかわる部分での点検や補修は続けています。日々の環境整備は今後も大切にします。四季折々の果実のできる樹木があることや露地栽培の野菜を園庭で育てていることは、毎年認めていただいているところです。

今年度いただいた記述欄に「蚊」に関することがありました。特に1階が多く発生するのですが、緑を大事にすると虫も多くなります。蚊取り線香の台数を増やす等して対応していますが、次年度に向けても対策を考えたいと思います。この話を運営協議会でしたところ理事の方からローズ・ゼラニウム（蚊取り草）をいただきました。西側砂場付近に植えて試してみます。

・項目3 この項目は外から見えにくいところではあります。ただ幼保小の連携には架け橋プログラムが始まっており、今後力を入れていく部分になっています。またコロナ禍とはいえ、乾隆夏まつりには、子どもたちがステージに出たり、保育会がブースを受け持っていました。今回運動会も地域の方にもお世話になっていますし、見守り隊の方には毎日お世話になっています。地域の中の幼稚園であることをもう少しアピールしたいと思います。

・項目4 今年度より早朝預かり8時からを始めました。さくらんぼ組も昨年度より継続した取組をしていますので、入園児の増加につながればよいと思っています。

・項目5 以前なかなかホームページの活用ができない時期もあり、ご指摘を受けていたところではありますが、評価が改善していることには嬉しく思います。

・項目6、7は教職員に関しての項目です。子どもたちが生き生きと過ごすためには、教職員が元気でないといけないと思っています。子どもに関わる者すべてが楽しく働く職場を目指したいと思います。

・項目8から12は、子どもたちに関する項目ですが、特に項目10が低調な評価になっています。個々の子どもたちには成長の速さも含めた特性があります。まずは「焦らず、他と比べず」が肝要です。その上で、子どもがしないからと言って、すべて代わりにやったのでは育つものも育たなくなります。やろうとする気持ちを大切にし、できてなくても自分でやったことには褒めて認めてやってほしいと思います。幼稚園でも大事にしている部分です。「待つ」ことは難しいですね。

・項目13も毎回低い評価になります。幼稚園では絵本ノートの提出状況から2学期より週1回、各クラス子どもと共に絵本を2冊借りるようにしています。夏休みに新刊を入れたときにはホームページでもお知らせしました。項目14にもつながるので是非習慣化をお願いします。

・項目14は大体のご家庭ができると回答しています。幼稚園の段階から子どもの話を聞くことが習慣化していると子どもの成長にはとてもプラスに働きます。ただ難しいのは保護者が聞いていても、子どもは聞いてくれないと思っている場合があるということです。時には子どもと向き合う時間を特設しても良いかもしれません。